

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 4月2日から4日にかけて、低気圧が日本の東を発達しながら北上して千島近海へ進む。
- 3日から5日にかけて、高気圧が東シナ海から日本付近を通って日本の東へ移動する。
- 5日から6日にかけて、気圧の谷が東シナ海付近から日本付近へ進む。

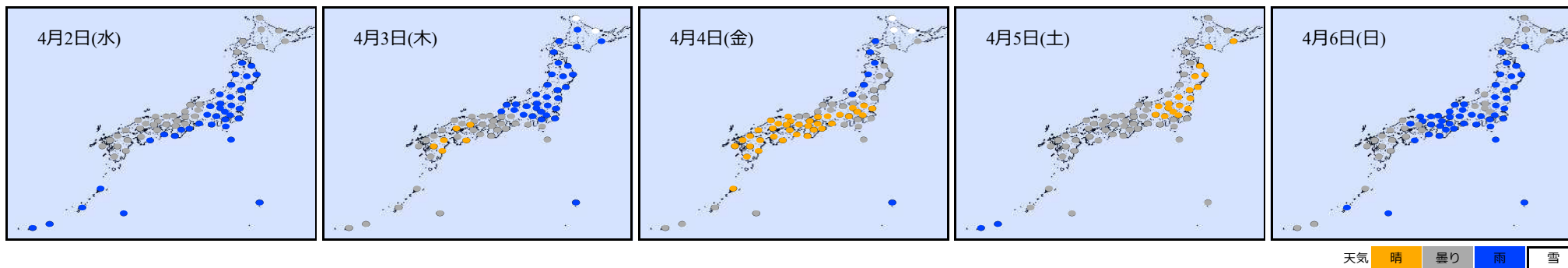
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

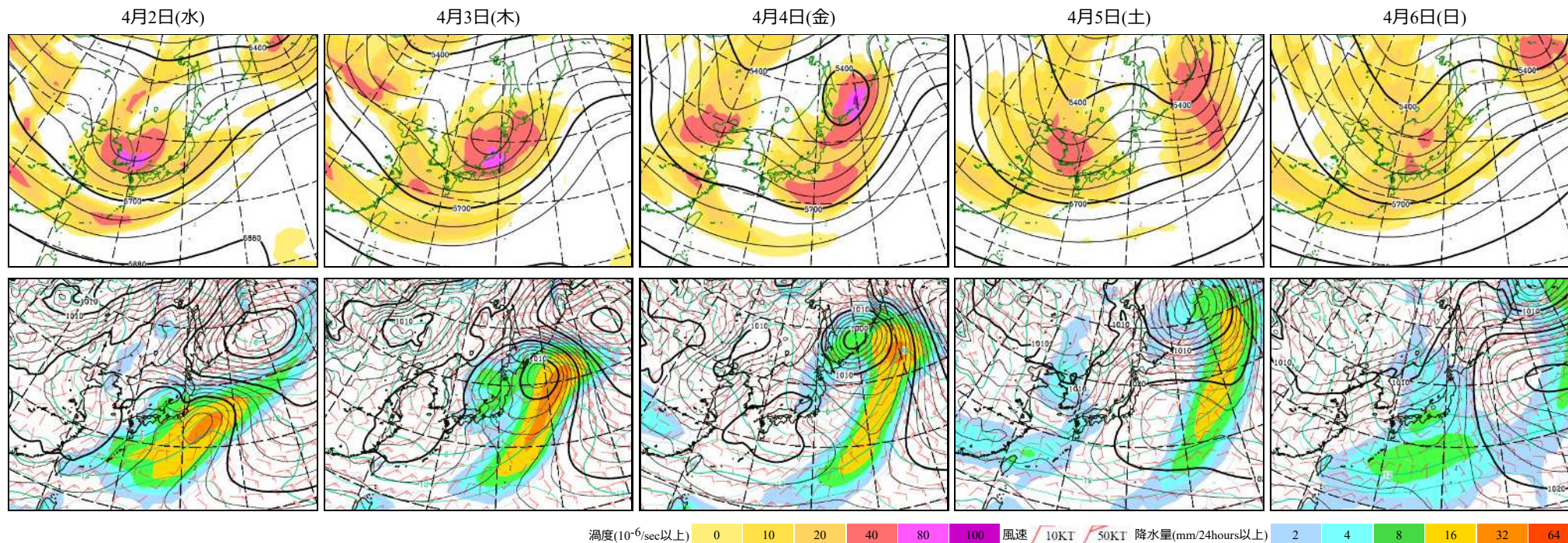
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

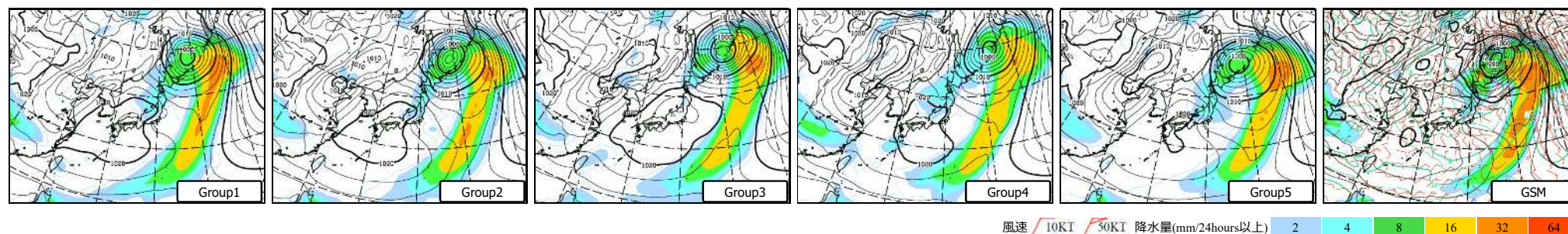


- 北日本は、4月5日は晴れる所が多いが、その他の日は曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本は、2日から3日と6日は曇りや雨の降る所が多く、4日から5日は晴れや曇りの所が多い。
- 西日本は、4日は晴れる所が多いが、その他の日は雲が広がりやすく雨の降る日がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月4日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはないが、4月2日から4日にかけて日本の東を北上する低気圧のコースが少し西寄りとなり日本に近い所を通るよう変わった。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は5400mの特定高度線のばらつきが大きい。
- 4日は、北日本で北西の風が強まり、北日本日本海側を中心に降水確率ガイダンスの値が高くなった。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。